

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	職員福利厚生事務			事業コード	1150
担当課等	所属名	上下水道局 総務経営課		担当係名	
	課長名	内宮康廣	担当人名	千葉 正幸	電話番号 6224

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5								
	基本事業	経営の効率化	コード 3	関連予算 費目名	水道事業会計 1款 1項80目 厚生費(010-90)									
	特記事項													
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 昭和39年度～)													
事務事業の概要	地方公務員法第42条に基づく職員の福利厚生を行うことで健康の保持・増進を図る。													
根拠法令等	地方公務員法第42条													
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)														
地方公務員法第42条に基づき、昭和39年度から職員の保健、元氣回復を目的にレクリエーション活動の一環として実施してきた。														
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか														
平成21年1月の総務省通知により、職員に対する福利厚生事業については、住民の理解が得られるものとなるよう、点検・見直しを行い、適正に事業を実施するよう求められている。														
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか														
平成21年度に水道事業からの補助金を使用した事業について大幅な見直しを行った。今後も少ない予算で最大の効果を上げられるように、事業の見直しを進めていく必要がある。														

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	上下水道局職員	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 上下水道局職員数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 盛岡市水道部職員球技大会開催要綱を作成し、実行委員会を開催したうえで、テニス及びゴルフを実施した。 また、盛岡市水道部職員ボウリング大会は諸般の事情により中止した。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年と同様だが、より多くの職員が気軽に参加できるような球技大会などを実施予定。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 職員球技大会及び職員ボウリング大会参加者数	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	健康の保持・増進の一環として、職員の体力の向上、元氣回復、心身のリフレッシュの促進を図り、業務遂行の向上を目的とする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 参加者率(参加者÷職員数) 【指標の性格: ☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】	単位	%
				B.	単位	
				C.	単位	
				【指標の性格: ☐ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持する】		
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に経営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	総資本利益率(単位:%) 自己資本構成比率(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	上下水道局職員数	人	171	172	240	240	223	223	26 年度 223
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	職員球技大会及び職員ボウリング大会参加者数	人	51	25	240	75	223	223	26 年度 223
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	参加者率(参加者÷職員数)	%	29.8	14.5	100	31.2	100	100	26 年度 100
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	51						*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	51	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円							*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	51						*****
	延べ業務時間数	時間	120						*****
	職員人件費 (B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	480	0	0	0	0	0	*****
	トータルコスト (A) + (B)	千円	531	0	0	0	0	0	*****

3. 事務事業の評価(See)

有効性 評価	①成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	☒ 向上余地がある ☐ 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	その内容:多くの職員が参加できるような企画を提案する必要がある。また、事業の効率化には限界があるので、今後は盛岡市職員互助会との統合も視野に入れるべきである。		
	②事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を節減できる余地はありますか？	☐ 削減余地がある ☒ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性 評価	③人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	☒ 削減余地がある ☐ 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	理由:現状が最低限の事業費と考えられることからこれ以上の削減は不可能と考える。		
	その内容:ほとんどの事務を一人の担当で行っていることから、事務のマニュアル化を進め、業務改善を進めれば業務時間数を削減する余地はあるが、人件費については、削減の余地はないと思われる。		

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／ 改善 方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 現在は公務災害の関係から上下水道局主催という形式を取っており、職員の実行委員会主体で進めているが、互助会としての関与があいまいなため積極的なPRができていない。多くの参加を呼び掛けるために企画・運営・広報を一体となして行う必要がある。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)
	公務災害の取扱いをするためには、局主催でなければならない。互助会主催とすると傷害保険に加入しなければならない。その費用対効果が問題となる。参加者にいくらかでも負担してもらう方法も含め、コストを掛けずに多くの人が安心して参加できるものを模索する必要がある。

5. 課長意見

一次 評価	(1)評価結果 ① 有効性 ☐ 妥当 ☒ 見直し余地あり ② 効率性 ☐ 妥当 ☒ 見直し余地あり	 (2)全体総括(振り返り, 反省点) 事業の実施に当たっては、職員の要望等を踏まえ実施したが、引続き費用対効果の視点も含め、事業内容等の検討を進める必要がある。
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) ☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 改革改善を行う ☐ 事業統廃合・連携	
今後の 方向性 と改革 改善案	 方向付けの理由と改革改善の内容 職員の保健・元気回復のため必要な事業であるが、今後も、職員のニーズを的確に把握し、参加率の向上策や経費負担のありかた等を含め事業内容を精査する必要がある。	